

別添２ 「カリキュラム」詳細

研修内容および研修時間数は下記のとおり

(１) 基礎講座および入門講座

研修科目		研修時間数	研修内容
基礎講座	介護に関する基礎知識	1. 5 時間	○介護に関する相談先（市町の窓口、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所） ○介護保険制度の概要（サービスの種類、利用手続き、利用者負担など） ○介護休業制度などの仕事と介護の両立支援制度の概要（介護休業や介護休暇などの内容や利用手続きなど）
	介護の基本	1. 5 時間	○介護における安全・安楽な体の動かし方（ボディメカニクスを活用） ○介護予防・認知症予防に使える体操（介護予防の理解、手軽に取り組める指先や手などを使った体操の紹介）
入門講座	基本的な介護の方法	1 0 時間	○介護職の役割や介護の専門性 ○生活支援技術の基本（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等に係る介護や支援の基本的な方法） ○老化の理解（老化に伴う心身機能の変化と日常生活への影響）
	認知症の理解	4 時間	○認知症を取り巻く状況（認知症高齢者の今後の動向や認知症に関する施策など） ○認知症の中核症状とBPSD、それに伴う日常生活への影響や認知症の進行による変化 ○認知症の種類とその原因疾患、症状、生活上の障害などの基本的な知識 ○認知症の人及びその家族に対する支援や関わり方
	障害の理解	2 時間	○障害の概念や障害者福祉の理念（ノーマライゼーションやICFの考え方） ○障害特性（身体、知的、精神、発達、難病等）に応じた生活上の障害や心理・行動の特徴などの基本的な知識 ○障害児者及びその家族に対する支援や関わり方
	介護における安全確保	2 時間	○介護現場における典型的な事故や感染など、リスクに対する予防や安全対策、起こってしまった場合の対応等に係る知識 ○介護職自身の健康管理、腰痛予防、手洗い・うがい、感染症対策等に係る知識
合計時間数		2 1 時間	

(2) 施設見学

施設見学	見学内容等
介護施設の見学	○受講者が施設で働くことをイメージしやすいよう、介護施設を見学する機会を設ける ○見学にあたっては、施設側が見学者を受け入れやすいような工夫を行う（受講者を少人数のグループに分ける、受け入れやすい時間帯や見学時間の設定等） ○見学する施設は、デイサービス、有料老人ホーム、特別養護老人ホーム、グループホーム等の複数の施設を用意し、受講者に選択させることができると望ましい ○施設見学を行う前には、見学時の心構え（留意点や見学時のポイント等）を受講者に周知すること ※なお、インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症の状況や影響により、施設見学が実施困難となる場合を想定して、代替案を事前に検討・準備しておくこと (例) ・実際に介護施設に就労した介護未経験者の体験談 等 ・施設と研修会場をつないでのオンラインでの施設見学 ・施設内の様子が分かるDVDの視聴